

# 第4回教育委員会（定）

開会日時 令和2年 2月 14日（金） 午前 10時00分  
閉会日時 午前 10時40分  
開会場所 教育委員会室

## 出席者

教育長 中川 修一  
委員 高野 佐紀子  
委員 松澤 智昭  
委員 長沼 豊

## 出席事務局職員

|            |        |            |       |
|------------|--------|------------|-------|
| 事務局次長      | 藤田 浩二郎 | 地域教育力担当部長  | 松田 玲子 |
| 教育総務課長     | 木曾 博   | 学務課長       | 星野 邦彦 |
| 生涯学習課長     | 水野 博史  | 指導室長       | 門野 吉保 |
| 教育支援センター所長 | 平沢 安正  | 新しい学校づくり課長 | 渡辺 五樹 |
| 学校配置調整担当課長 | 大森 恒二  | 施設整備担当副参事  | 千葉 亨二 |
| 中央図書館長     | 大橋 薫   |            |       |

## 署名委員

教育長

委員

午前 10時 00分 開会

教 育 長 おはようございます。本日は3名の委員の出席を得ましたので、委員会は成立いたしました。

なお、青木委員からはご欠席の連絡が入っております。

それでは、ただいまから、令和2年第4回の教育委員会（定例会）を開催いたします。

本日の会議に出席する職員は、藤田次長、松田地域教育力担当部長、木曾教育総務課長、星野学務課長、水野生涯学習課長、門野指導室長、平沢教育支援センター所長、渡辺新しい学校づくり課長、大森学校配置調整担当課長、千葉施設整備担当副参事、大橋中央図書館長、以上11名でございます。

本日の議事録署名委員は、会議規則第29条により、松澤委員にお願いいたします。

本日の委員会は、2名から傍聴申し出がなされており、会議規則第30条により許可しましたので、お知らせいたします。

#### ○議事

日程第一 議案第3号 令和2年度 区立学校管理職配置に係る内申について

(指導室)

教 育 長 それでは、議事に入ります。日程第一 議案第3号「令和2年度 区立学校管理職配置に係る内申について」は、人事案件のため、非公開による審議とし、議事進行の都合上、委員会の最後に処理することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 それでは、そのように処理いたします。

#### ○専決処分

1. 意見の聴取について

(資料・教育総務課)

教 育 長 それでは、専決処分を聴取します。専決処分1「意見の聴取について」は、令和2年第1回区議会定例会で審議を予定している案件で、議会に提出する前である本日の教育委員会において公開で聴取を行う場合、具体的かつ自由な討論、質疑ができないおそれがありますので、非公開による聴取とし、議事進行の都合上、委員会の最後に処理することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 それでは、そのように処理いたします。

#### ○報告事項

1. 人事情報（都費職員・令和2年1月分）

（指－1・指導室）

（区費職員・令和2年1月分）

（総－1・教育総務課）

教 育 長     それでは、報告事項を聴取します。報告1「人事情報」について、初めに都費職員について、指導室長から、続いて、区費職員について、教育総務課長から報告願います。

指 導 室 長     資料「指－1」をご覧ください。

1、正規職員についてです。

1月末の教職員数は、括弧内の休職者なども含めて、総勢1,891人です。先月と比較しまして、2名減となっております。

2、期限付任用教員についてです。

1月末の期限付任用教員の数は、17人で、先月と比較しまして、増減はございません。

教育総務課長     続きまして、区費職員について、資料「総－1」をご覧ください。

一般職員・再任用職員・再雇用職員の1月31日現在の職員数です。

下段の合計欄、今月末141人は、先月と比較しまして、増減はございません。

続きまして、資料の2ページ、非常勤職員についてです。

合計欄、今月末777人は、先月と比較しまして、増減はございません。

ただし、内訳で、中段の特別支援学級介添員が1名増です。

一方で、下段の社会教育指導員が1名減、都合、増減なしでございます。

教 育 長     質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。よろしいでしょうか。

（はい）

○報告事項

2. 令和元年度 生徒会交流会について

（指－2・指導室）

教 育 長     それでは、報告2「令和元年度 生徒会交流会について」、指導室長から報告願います。

指 導 室 長     資料「指－2」をご覧ください。

令和元年度板橋区立中学校生徒会交流発表会・いじめ防止シンポジウムについて、ご報告させていただきます。

今年度の生徒会交流会は、12月9日に第1回、1月10日に第2回を開催し、「いじめ防止」と「2030年に向けた持続可能な世界を創るアクションプラン」の2つのテーマについて、学校の先生方やPTA連合会と教育委員の皆様と

交流し、話し合い活動を深めてまいりました。

1月27日には、今年度の活動のまとめとして、板橋区立文化会館小ホールにて発表会を開催いたしました。

第1部の「生徒会交流発表会」では、代表4校による生徒会活動の実践発表でございました。

全ての学校で、自分たちの学校生活をより良くしていこうと、活動の充実に取り組んでいます。

いじめ撲滅に向けては、各校で挨拶運動やポスター制作などの取組を継続しているという報告がございました。

また、学びのエリアの小学生や地域の方、おやじの会との交流、SDGsへの意識を高める取組などについても報告がありました。

第2部の「いじめ防止シンポジウム」では、今年度で8回目の開催となり、教育委員や中学校PTA連合会会長の皆様を交えて、ネットによるいじめの現状、また、いじめ防止に向けた今後の取組などについて考えを交流させました。

中学生がスマートフォンを使用することの是非について考え、ネットによるいじめを防止するにはどうしたら良いのか、中学生の考えを保護者、地域へアピールする良い機会となりました。本シンポジウムは、今後も継続していく予定です。

各学校には、生徒が主体となっていじめ防止の機運が高まるよう、引き続き、指導をお願いしてまいります。

また、各小・中学校には、中学生が作成した、いじめ防止に向けたポスターを今後、送付する予定です。

各校でいじめ防止に向けた取組の充実を図ってまいります。

第3部の「2030年に向けた持続可能な世界を創るアクションプラン発表」については、生徒たちが選択したSDGsの視点をもとに、具体的なアクションプランをグループごとに3つにまとめ、提言をいたしました。

身近な課題と社会問題とのつながりを発表しながら、答のない問いについて、協力して知恵を出し合い、中学生らしい柔軟な発想で身近に実践できる提案がいくつも出されました。ご協力いただきました教育委員の皆様には感謝いたします。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

高野委員 前回は交流会についてのお話をさせていただきまして、今回は発表会についてのお話なのですが、各生徒会の発表と冊子による報告を見て、本当に生徒会が色々なことに取り組んでいるということが大変よく分かりました。

感想としましては、発表の仕方について、特に制服問題について話し合ったなど、色々と特別な問題について挙げている学校があったのですが、年間を通した活動については冊子があるので、その中で自分たちが特に頑張ってきた活動など、大きなことに焦点を当てて発表してもらおうと、より各学校の特色が見えたのではないかという印象がありました。

それから、いじめ防止シンポジウムについては、実態として板橋区の中学校の

中でもネットのいじめなどは存在するとは思いますが、それがなかなか表に出てこないで、あるらしいというような感じで始まってしまっているのが、実際にとっているアンケートなどから、板橋区の学校全体として色々な例があると思うので、そのようなことを具体的に取り上げていっても良いのではないかと思います。このようなことが大変なことにつながる可能性があったというようなところから入って、シンポジウムを始めるのも良いのではないかと思います。

いじめがあるということを知るところにかかる時間が長過ぎるような気がして、その後、それではどうしたいのかということにより焦点を当てて進めていくような方法もあるのではないかと思います。

今回だけではなく、何年間か続けて生徒会交流発表会に参加しての意見です。

松澤委員 発表の件に関しては、私も高野委員と同じような意見で、各学校の発表を見てメモをしてきたものを見てみると、発表の仕方が各学校で違うことと、発表をする際に映像をつくっていらっしゃるのですが、その中身、コンテンツが大分違うという印象を受けました。

写真を使っている、文字を使っている、そして写真と文字と動画を使っている、動画を使って、さらに動かしているなど、違いが大きく出ています。

最近、色々な学校でプログラミングを取り入れているということなので、そうした視覚効果などを多用している学校は大変分かりやすく感じました。

一方で、そうでない学校でも、生徒の発表の仕方に違いがあり、生徒が動いている学校もありましたし、その場で立って発表している学校もありましたし、原稿を読んでいるだけの学校もありました。

ただし、高野委員がおっしゃっていたように、文字が出てきているのにも関わらず、それとは違うこと、一番言いたいことを生徒が言っている学校などもあって、これは大人が見ても、他の学校の生徒が見ても、本当に参考になるような素晴らしいアイデアが出ていたので、今後これをまとめ、まとめたものを説明することを中心に、今までやってきたものにさらに、高野委員がおっしゃったように、この学校ではここをメインにしてやっていますというようなアピールなども入ってくると、また違うのではないかと思います。

先ほどもSDGsのお話もありましたし、持続可能な世界をつくるアクションプランなどは、発表するという、すなわちアピールして、それにより採用されたものに関して実行するという、大人の社会のプロセスということでそうしたものも組み込んでいくと、さらに良いのではないかと思います。

2つ目のパネルディスカッションについては、実際に出てみて感じたことがあります。

それは、相対的にいじめを捉えて見ているのかということで、生徒会という学校組織の中の執行部といいますか、その学校全部で見ていただく必要がある。

高野委員がおっしゃったように、板橋区全部での統計というのは教育委員会としてのことであれば、板橋区全部の統計をとって、どのようなネットいじめが多いかということ进行分析するのも必要なのではないかと思います。私が感じたの

は、生徒が一人一人、自分の意見を言えたということが一番大事なことなのではないかと思っていて、いじめを1つなくすということからスタートして行って、それを積み重ねていくことでゼロに近づけていくということが、本当に必要なことなのではないかと思いました。

先ほど高野委員もおっしゃっていましたが、ネットいじめの一番の根本は匿名性にあると思います。匿名性、すなわち目に見えないいじめということ子どもたちも言っていたのですが、そのような目に見えないものをあぶり出し、どうしたらそのようなネットいじめが表に出るようになるのか。

それが出てきたら、次に、解決するためにはどうしたら良いのかということになるので、極論から言いますと、SNSを使うか、使わないか。さらには、スマホを持たせるか、持たせないかということになってしまうのですが、実際にすでに持っている子どもが大勢いて、持たせるか、持たせないかという議論も確かに大事なのですが、持ったうえでどのように向き合っていって良いのかということをお話し合っていく場ということで捉えていたので、実際に持っている子どもも、持っていない子どももいた中で、パネラーの方たちは自分の意見を言って、さらには自分が、そこで感じていることだけではなく、自分以外の、親であったり、先生であったり、友達であったりという、それぞれの立場に立って、自分がもしその立場であったらどうしたら良いのかということも考えながらやってくれていたのが、とても優秀な子どもたちだということを実感いたしました。

長 沼 委 員 今回、第3回の会に出させていただいて、全体的に生徒たちが本当に堂々と発表をしている姿がとても良かったと思います。

とりわけ第2部では、大人たちに混ざって話をするという場面だったのですが、スマートフォンについて、所持することも含めて、大人たちの意見を聞いたうえで、子どもたちがどのように答えるのかと思っていたのですが、「いや、でも、私はこう思う」としっかりと自分の考えを述べていました。

これはSDGsの子どもの意見表明権にもつながるものですので、とても良かったですし、それをフロアで聞いていた各校の代表の方が、その話合いの中身や方法を生かして今後の生徒会を運営していけるのではないかと思いますので、本当に良かったと思います。

1点だけ、第1部の発表の中で、生徒会活動の発表と翼翼、部活動の成果を挙げていたのですが、厳密には部活動と生徒会活動は違って、生徒会活動が部活動を何らかのサポートをしているような活動なら良いのですが、単なる部活動の成果であれば、それは生徒会活動の成果ではないので、そこはしっかりと区別し、きちんと先生がそこを指導して、発表すべき内容を事前に指導、助言なさるべきだと思います。

教 育 長 私も、前回もお話したように、中学生が非常に自分で考えて表現をしていく力がついてきたと思っております。できれば保護者や区民の皆様にも見ていただきたいという意味では、今回の内容を動画として、短時間にまとめて、中学生は

こんなに頑張っているのだということに参加された人たちだけではなくて、各学校に持ち帰ったり、保護者や地域の方などにも伝えるような機会があると、せっかくの素晴らしい会ですから、もっと広がっていくのではないかと思います。

また、第3部については、各グループの発表内容について、ぜひ担当となる区長部局にも伝えて、子どもたちがこんな提案をしていますというようなことで、そこからのフィードバックを子どもたちに返してあげると、子どもたちもやりっ放しではないという充実感を感じるのではないかと思います。

とてもすてきな時間を過ごせたことに感謝したいと思います。

ありがとうございました。

### ○報告事項

#### 3. 魅力ある学校づくり協議会（志村小）の進捗状況について

（配－1・学校配置調整担当課）

教 育 長     それでは、報告3「魅力ある学校づくり協議会（志村小）の進捗状況について」、学校配置調整担当課長から報告願います。

学校配置調整担当課長

資料「配－1」をご覧ください。

今回は第3回協議会の状況でございます。

今回から実質的な協議に入っております。様々な意見を出していただけるように、ワークショップ形式を取り入れて行いました。

委員を3つのグループに分け、先日開催された「身近な教育委員会」で行っているように、付箋を用意し、個人ワークからグループ討議、その後、全体での発表という流れで進めました。

中段に記載の第3回の欄にあります「志村小学校の仮設校舎設置場所」、「意見聴取及び周知方法」の2つを議題として協議していただいております。

主な意見としては、2に記載のとおりでございますが、現校地で何とか建替えができないかという意見が多く上がっております。

一方で、6年間という長い工事期間の学校運営、安全確保も課題でありますので、志村第四中学校との関係も検討していくのが現実的ではないかといった意見も出ております。

そのためにも、協議会の活動を幅広く周知することと、幅広い意見を聞く必要があるということになってございます。

資料の2ページ目をご覧ください。

協議の結果としてですが、（1）の志村小学校の仮設校舎設置場所については、引き続き、協議を続けていきたいと思っております。

また、志村第四中学校の関係者の方から意見を聞く必要もあることから、次回の協議会には志村第四中学校の関係者の方にも出席していただく予定となっております。

周知につきましては、近隣の小学校、幼稚園、保育園等の方と相談しながら、説明会の開催やアンケートの実施を検討してまいりたいと思っております。

第4回の協議会につきましては、3月12日開催の予定となっております。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

松 澤 委 員 現在のところ、第3回まで行っていただいているということですが、様々な意見があると思いますし、地域の皆さんの意見と、これから通っていく子どもたちにとって、どのようなものが良いのかということをよく話し合っただきながら着実に進めていただきたいと思います。

学校をつくるということに関しましては、様々な意見が必要になってくると思いますので、今後、学校の改修や新築の際に、学校内部の色々な箇所について設計するうえで、良いアイデアがもしあれば、学校の先生や校長先生を含め、保護者の方や地域の方などとも話し合いながら、時代もだいぶ変わってきており、必要なものの順番が以前とは違うようなこともあると思いますので、その辺りも含めて、また、建設費の問題もありますので、そのようなことも含めて検討していただくの良いのではないかと考えております。

志村小学校の話は、小学校をどうするのかというところのまだ大枠ではありますが、それが決まっていく過程、その途中で、学校内部の設備、施設についてもそのような意見を取り入れていただくと良いのではないかと考えております。今後、改築などを行うときには、ぜひ地域等のお話をよく聞いて進めていただくと良いのではないかと考えました。

学校配置調整担当課長 松澤委員のおっしゃるとおり、学校自体は児童・生徒の教育環境という点も非常に大事だと思います。その一方で、地域の核にもなりますので、今いただいたような意見を十分に留意していきたいと考えております。

また、2期のDグループ、上板橋第一中学校と上板橋第三中学校については、それぞれ改築と維持改修という形で来年度から進んでいきますので、その過程の中でも色々と意見を聞いて、より良い学校をつくっていきたくて考えております。

高 野 委 員 志村第四中学校の名前が出てきた辺りの経緯についても詳しく教えてください。

学校配置調整担当課長 資料の1ページ目の表、準備協議会から第3回の日程のあるところをご覧いただきたいのですが、まず、第1回で、志村小学校の現況を説明いたしました。擁壁があることや、工事を行うと6年かかるといったことです。

第2回で、近隣での小学校同士の統合もなかなか難しく、また、仮設も難しい。一方で今後、学びのエリアで小中一貫教育を進めていく関係から、近隣の志村第四中学校が候補として上がったところです。

高 野 委 員 そうしますと、今の協議会の中では、志村第四中学校の関係者の方は、学びのエリアの関係や近隣の学校ということでもまだ入っていないで、これから入るとい形になるのでしょうか。



町会などが重なる部分で、志村小学校と志村第四中学校の両方に関係がある方は協議会のメンバーにも入っていらっしゃるが、今後は、志村第四中学校に焦点を当てて、その関係者の方にもご意見をたくさん伺っていくという考え方ということでしょうか。

学校配置調整担当課長 第3回で、選択肢として志村第四中学校は挙げたのですが、志村第四中学校の方がどのように思うのか意見も聞かないと、こちらだけでは判断できないのではないかという意見がありましたので、それを受け、それでは、一緒に考えていきましょうということになった次第です。

まだ、決まったわけではありません。あくまでも選択肢ということですが、協議を進めていくうえでは、意見を聞くことが必要なのではないかといったことで次回から参加していただこうと考えております。

教 育 長 そのほか、よろしいでしょうか。

(はい)

#### ○報告事項

#### 4. 「いたばし子ども絵本展」の開催及び「いたばし国際絵本翻訳大賞中学生部門表彰式」の実施について

(図-1・中央図書館)

教 育 長 それでは、報告4「「いたばし子ども絵本展」の開催及び「いたばし国際絵本翻訳大賞中学生部門表彰式」の実施について」、中央図書館長から報告願います。

中央図書館長 資料「図-1」をご覧ください。

まず、1、概要にありますとおり、いたばし子ども絵本展につきましては、いたばしボローニャ子ども絵本館が所蔵する国際絵本、また、6月から2月までで開催してまいりました絵本づくりワークショップ小学生部門、中学生部門で製作いたしました絵本を展示、紹介するものです。

絵本により身近に親しむ機会を設けまして、国際理解を深めるとともに、「絵本のまち板橋」の魅力発信の機会にしたいと考えております。

また、いたばし国際絵本翻訳大賞中学生部門の表彰式については、今月初め、2月4日までに審査を終えておりまして、優秀作品を表彰する予定です。

翻訳への興味や事業応募の促進を図る狙いでございます。

絵本づくりワークショップにおいては、小学生が180作余り、中学生は今年度から始めた取組として、20作の作品を仕上げしております。

また、中学生部門の翻訳大賞につきましては、およそ130件から優秀作品、最優秀作品、6作を選考しております。

2、日時はご覧のとおり、3月5日から12日までとなります。

3、会場は板橋区役所1階のイベントスクエアを開催場所といたします。

また、国際絵本翻訳大賞の中学生部門表彰式につきましては、この期間の最終日に当たります3月12日午後3時から開催の予定です。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。よろしいでしょうか。

(はい)

教 育 長 次に、教育委員会次第にはありませんが、追加報告事項はありますか。

(なし)

教 育 長 それでは、先ほど申し上げましたように、日程第一 議案第3号及び専決処分1につきましては、非公開として聴取いたします。

なお、この議案をもって本日の教育委員会は閉会いたしますので、傍聴人の方はご退席願います。ありがとうございました。

(傍聴人 退席)

○議事

日程第一 議案第3号 令和2年度 区立学校管理職配置に係る内申について  
(指導室)

(非公開)

○専決処分

1. 意見の聴取について

(資料・教育総務課)

(非公開)

教 育 長 それでは、以上をもちまして、本日の教育委員会を終了いたします。  
ありがとうございました。

午前 10時 40分 閉会